

情報を伝える努力を



山 口 ま り

現在、様々な花関係の団体にかかわりながら、花に興味をもっている方々へ向け、花や緑とのふれあいの楽しさや使い方・栽培管理方法を伝え、長く花に親んでいただきたいとの願いで、自らガーデニング講習会の講師を務めたり、園芸講座や花のイベントの企画運営に携わっています。

その中で、いつも強く感じるのが、花の育種・生産側の思いとエンドユーザーの求めているもののミスマッチ。どこかで、双方の情報が途切れてしまっていることです。それは、品種の問題であったり、ポット苗や鉢花などの生産品の姿であったりもします。

園芸界の端に身を置くことができ、幸運なことに育種家・生産者の声を聴く機会を持ち、新品種の改良点などを知り得るのですが、その特徴がまったくと言ってよいほど、ユーザーには届いていないのです。また、ユーザーがどのようなものを求めているのかも、育種・生産側には届いていないように思うのです。

そのため、せつかくユーザーに求められている新品種・新しい形状の苗や鉢物ができて、必要とされ

るところにその情報が届いていないため、売れずに出荷が数年で終わってしまうということもあり、とてももったいなく、残念に思うことしばしばです。

多くの種苗会社は、直接の取引先である生産者にはかりに新しい情報を届けていますが、エンドユーザーにも直接、情報を届ける努力をしてほしいものです。もちろん、それは、生産者、市場、市場外流通業者にも言えることです。さらに、ユーザーが何を求めているのか、現在の品種や生産品のどこに不満を持っているのかにも、耳を傾けてほしいとも思います。

新品種・新しい形状の苗などの特徴をしっかりPRすることにより、求めているところに届けることができるばかりでなく、目的買いのユーザーにも満足を届けることができることでしょう。

印刷媒体・インターネットやグリーンアドバイザー・ハンギングバスケットマスターなどの人材を利用し、積極的に花の情報を届けることが、今後の花業界の発展につながってゆくのではないのでしょうか。

<p>花 葉</p> <p>2012 NO.31</p> <p>目 次</p> <p>禁無断転載</p>	私の提案 情報を伝える努力を……………	山口 まり (1)
	私の蘭学 (Orchidology) 事始め……………	三吉 一光 (2)
	国際化に向けて日本原産花木育種への提言……………	山口 聡 (6)
	FlowerTrials® 案内記……………	対馬 淳一 (10)
	安藤敏夫先生退官祝賀パーティー開催される……………	渡辺 均 (14)
	ベチユニアの遺伝資源とその評価に関する研究……………	安藤 敏夫 (16)
	常識にこだわるな 常識は絶対でない……………	小田善一郎 (20)
	自叙伝抜粋・夢を追い続け、花の育種に生涯をかける……………	高木 誠 (22)
	宿根草と一年草を組み合わせた新しい植栽方法……………	林 角郎 (26)
	表紙解説 Primula Polyanthus Group の原種の 1 つ Primula elatior……………	田中 桃三 (30)
	施設園芸による切りバラ生産……………	西村 和喜 (31)
	3.11. 被災花卉生産者のための募金事業報告……………	安藤 敏夫 (38)
	2012 年花葉サマーセミナーレポート……………	久保田芳久 (40)
	花葉会海外園芸事情調査報告 フロリアードとブルガリア……………	長岡 求 (45)
	花卉園芸学研究室レポート 新たな気持ちで……………	加藤 善也 (50)
園芸別科花組レポート花組の日々……………	平野 綺香 (51)	
花葉会総会 (55) 花葉会会則・役員名簿 (57) 花葉会賞受賞者紹介 (57)		